

多系品種「ササニシキBL」の追加品種「ササニシキBL7号」

古川農業試験場

1 取り上げた理由

いもち病真性抵抗性に関する多系品種「ササニシキBL」は現在6品種から構成されている。多系品種は、その構成品種を増やすことにより、いもち病を安定的に抑制することができる。

「ササニシキBL7号」は、いもち病真性抵抗性遺伝子*Pib*をもち、その他の諸特性が「ササニシキ」と実用上同程度であり、奨励品種に採用されたので、普及技術とする。

2 普及技術

1) 来歴

「ササニシキBL7号」は、宮城県古川農業試験場において、「ササニシキ」にいもち病真性抵抗性遺伝子*Pib*の導入を目標とし、「曲系872」を1回親、「ササニシキ」を反復親とした戻し交配で育成された同質遺伝子系統である。

2) 特性の概要

- a いもち病真性抵抗性遺伝子型は*Pia*, *Pib*をもつと推定される。
- b その他の諸特性は「ササニシキ」と同程度で、実用上同じである。

表1 ササニシキとの比較

	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	株長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (%)	玄米重 (%)	千粒重 (g)	倒伏 (%)	諸性状の多少		玄米 品質	食味
									いもち	もち		
古式 標肥	1	2	-18	01	105	103	00	03	-10	-07	01	015
新肥	0	0	-14	01	101	107	-01	-05	-10	-10	05	—
農七 標肥	0	0	-24	00	100	100	-04	00	00	00	02	024
新肥	0	0	-37	04	97	101	-06	00	00	00	-08	—
北部 南部	0	0	10	04	95	89	-03	00	00	00	10	—
平坦 若柳	0	0	-33	00	106	103	-02	-05	-05	00	00	017
豊里	0	0	-05	10	99	97	-08	00	-10	00	10	029
平均	01	03	-17	03	100	100	-03	-01	-05	-02	03	021

注) 1) 穂数・玄米重はササニシキを基準とした百分率である。それ以外はササニシキとの差の絶対値はササニシキが(+)の値、(株)長、(穂)重、(多)く、(食)味と表示し、負数表の逆表示。
 2) 諸性状の多少は無-基準で0-5までの数値に換換した値から玄米品質は下-上までの0-4までの数値に換換した値から求めた。
 3) 食味は不良-良を0-4で示し、ササニシキとの差である。
 4) 平均は表中数値の単純平均である。

3) 普及見込み地帯及び面積

ササニシキ栽培地帯(平坦地帯及び西部丘陵・三陸沿岸地帯の一部)
 1,000ha(ササニシキBLとして)

3 利活用の留意点

- 1 いもち病菌のレーズの変化をみながら混合する系統及び割合を決めるので、種子は毎年全量更新する。
- 2 いもち病防除以外の栽培法は、「ササニシキ」に準ずる。

4 背景となった主要な試験研究

1)研究課題名及び研究期間

主要農作物の地帯別奨励品種決定調査(古川農業試験場栽培部:1999~2000年)

水稻奨励品種決定調査(古川農業試験場水田利用部:2001年)

水稻奨励品種決定調査(農業センター農産部:1999~2000年)

2)参考データ

表2 特性一覧表(奨励品種決定基本調査による)

品 種 名	ササニシキBL7号	交配組合せ	ササニシキ×8/苗系872	
特 性	ササニシキのいもち病真菌性抵抗性同質遺伝子系統である。 長所 混合栽培により、いもち病の発病を抑制できる。			
普及見込み面積	ササニシキの普及地帯(平塚地帯及び西部丘陵・三陸沿岸地帯の一部) 1,000ha (ササニシキBLとして)			
調 査 地	宮城県古川農業試験場		宮城県農業センター	
調 査 年 次	1999~2001年		1999~2000年	
系 統・品 種 名	ササニシキBL7号	ササニシキ	ササニシキBL7号	ササニシキ
早 晩 性	中生の晩	中生の晩	中生の晩	中生の晩
草 型	穂数型	穂数型	穂数型	穂数型
出穂期(月日)	8/3	8/2	7/30	7/30
成熟期(月日)	9/18	9/16	9/10	9/10
穂 長 (cm)	81.2	83.1	80.0	82.4
穂 長 (cm)	17.3	17.6	17.5	17.5
穂 数 (本/m ²)	565	539	468	470
芒の多少・長短	極少・短	極少・短	極少・短	極少・短
心 先 色	黄白	黄白	黄白	黄白
脱 粒 性	難	難	難	難
耐 倒 伏 性	弱	弱	弱	弱
穂 発 芽 性 ※	やや良	やや良	-	-
耐 冷 性 ※	やや弱	やや弱	-	-
耐 病 性	いもち病真菌性 ※	<i>P_{1a}</i> , <i>P_{1b}</i>	-	-
	いもち病細菌性 ※	やや弱	やや弱	-
	白葉枯病 ※	弱	弱	-
	白葉枯病 ※	やや弱	やや弱	-
収 量 (kg/ha)	60.1	58.2	49.7	48.8
収 量 対 比 (%)	101	(100)	100	(100)
千 粒 重 (g)	21.8	21.8	21.1	21.5
玄 米 品 質	中の中	中の中	中の上	中の上
	上の中	上の中	上の中	上の中

注) ※印は、常規地及び特性検定地における評価。
玄米は篩目1.8mmで調製した。

3)発表論文等

なし